

合併で困ることはないの?!?

Q 合併する地域の伝統や文化が失われていきませんか？

A 合併はそれまでの市町村を同じカラーで塗りつぶそうというのではなく、より大きな範囲で新しいまちづくりを考えようというものです。
合併後も、それぞれの地域において育まれてきた歴史、文化、伝統などを尊重した地域づくりを行ったり、旧地名を残していく等の工夫をすることで各地域の個性を活かしたまちづくりは可能です。



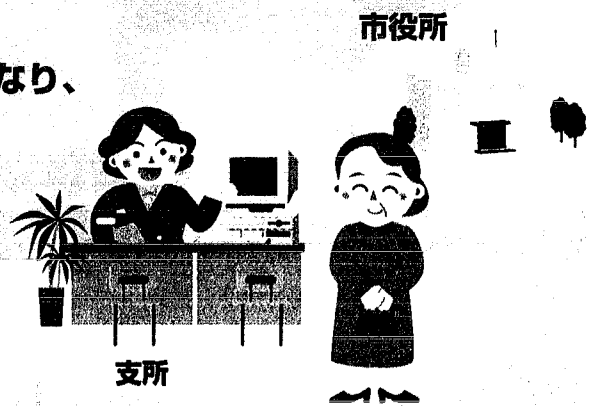
Q 合併後には中心部だけが良くなり、周辺部が取り残されてしまうのではないのでしょうか？



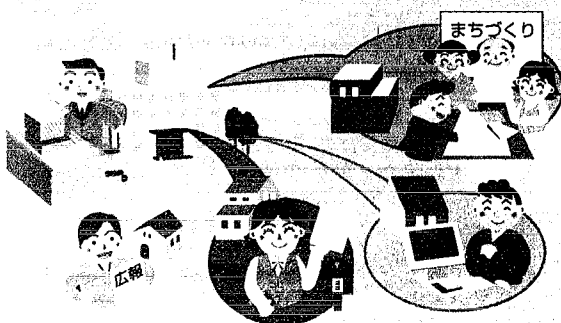
A 合併に際しては、「合併協議会」を作り、合併後のビジョンを示した「市町村建設計画」を定めることとなります。計画を定める過程では、地域の住民のみならずのさまざまな意見を反映させながら、地域バランスや地域の役割分担に配慮したまちづくりを考えて行く必要があります。
合併後には、地域住民の声を施策に反映できるように、必要に応じて、旧市町村の区域を単位とした「地域審議会」という組織を置いて、まちづくりをチェックできるようになっています。

Q 合併すると市役所や役場が遠くなり、今よりも不便になりませんか？

A 多くの場合、合併前の市役所や役場は合併後も支所として残すなど、窓口サービス等の日常的な行政サービスが不便にならないように配慮されています。むしろ各支所の窓口がオンライン化や情報ネットワークにより本庁と結ばれることで、最寄りの窓口で、一層手軽に行政サービスを受けられるようになります。



Q 市町村の規模が大きくなると、行政と住民の結びつきが薄れ、住民の声が行政に届きにくくなるのではないですか？



A 多くの市町村では、現在でも地域ごとの「懇談会」や「行政モニター」、「アンケート」などを通して住民のみならずの意見を聞く努力をしており、これらの制度を十分に活用すれば、合併後においても地域の声を充分行政に反映していくことができると考えます。これらの制度に加え、インターネットなどの情報通信を利用した情報共有も、住民と行政との意見交換のための有効な方法になると思います。
また、合併によって余裕のできた人員と経費によって、きめ細やかな行政サービスを維持し、住民とのつながりを密接にすることができます。

Q & A

市町村の合併

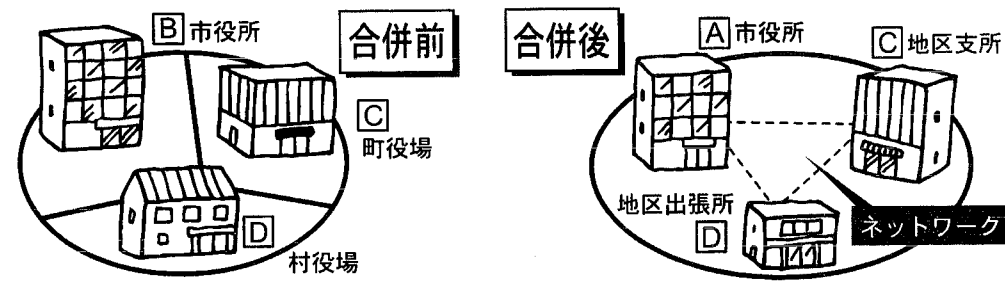
わたしたちの生活圏はますます拡大し、必要とするサービスも多様化・高度化しています。そんな時代に適応するために、市町村の自主的な合併は有効な方策として考えられています。

Q どうして今、市町村合併が求められているのですか？

A 市町村合併が現在求められている理由としては、次のようなことが挙げられます。
・地方分権の進展により市町村の役割が重要になっています。
・今日、市町村は、少子高齢化や環境問題、情報化の進展といった、行政課題の多様化・高度化・広域化に対する的確な対応が求められています。
・国、地方を通ずる厳しい財政状況のもとで、市町村が現在の行政サービスの水準を将来にわたって維持していくためには、行財政基盤の充実を図るとともに、より効率的、効果的な行財政運営を実現していくことが求められています。

Q 合併のメリットはなんですか？

A 市町村合併によって次のようなことが期待されています。
・高齢者への福祉サービスを担うマンパワーの確保ができるほか、保健婦や土木技師など専門職の採用・増強を図ることができ、専門的かつ高度なサービスを提供できます。
・役所の窓口サービスや文化施設、スポーツ施設などの公共施設が多くの場所で利用可能になります。
・道路や市街地の整備、文化施設、スポーツ施設などを効率的に整備することにより、一体的なまちづくりを進めることができます。
・行政経費が節約され、少ない経費でより高い水準の行政サービスを行うことができます。



Q 市町村が合併して大きくなることで問題はないのですか？例えば、福祉などのサービスが乏しくなったり、水道料金などが高くなるということはありませんか？

A 合併前の関係市町村間で話し合っ決めて決めますが、一般的には、事務処理の方法の効率化によって、サービス水準は高いほうに、負担は低いほうに調整されることになっています。

